



# 滋賀短期大学 学報

2013. 6. 1

No. 73

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605  
ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



入学式当日の正門付近

## 「置かれた場所で咲きなさい」を胸に、 楽しいキャンパスライフを!

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



今春は、男子学生62名を含む、358名の新生を迎えています。教職員一同、心から歓迎いたします。本学は昭和45年に滋賀女子短期大学として開学しましたが、平成20年には男女共学の短期大学に改め、本年で6年目となります。男女共学が定着し、文化活動やスポーツ活動に励む学生も

多くみられ、活力のあるキャンパスとなっています。

建学の精神である「心技一如」のもとに、本学では、広く深い知識と高く確かな技術を身につけた人間性豊かな社会人を育てることをめざしています。これからの社会を考えますと、実社会で役立つ知識や技術はもちろんのことですが、職場の人たちと向き合える力、職場の課題解決に向き合える力が不可欠となり、まさに人間力を高めねばなりません。そのためにも、本学では自分で立つ「自立」と自分を律する「自律」を意識して学んでいただきたいと願っています。このことは、実学を身につけるにあたって最も大切な構えとなるからです。

ところで、昨年のことですが、心に響く「ことば」に出会いました。これについては、AO入試や推薦入試の合格者に対する入学前の学びのなかでふれましたが、改めて入学式の式辞のなかでも紹介した次第です。それは、「置かれた場所で咲きなさい」という文言です。これは、書名でもあります（幻冬舎、2012年）。著者は渡辺和子さんと、現在は岡山県にあるノートルダム清心学園の理事長であり、85歳になられるシスターです。先生はノートルダム清心女子大学に派遣された翌年に、学長の急逝により36歳の若さで後任の学長に任命され、見知らぬ土地で、予期せぬ役職に、四苦八苦されることになりました。おそらくはその状況を見るに見かねて、ある宣教師が短い英語の詩を手渡したということでもあります。その詩によって、これまでの生き方が大きく変わったと綴られています。

その詩の冒頭の1行が「置かれたところで咲きなさい」という文言です。置かれた場に不平不満をもち、他人の出方で幸せになったり、不幸になったりしては、自分自身がその環境の奴隷でしかありません。人間として生まれたからには、どのようなところに置かれても、その環

境の主人となり、自分の花を咲かせようと決心することができたということでもあります。

私たちの「置かれたところ」は、時にはつらい立場であったり、理不尽な、あるいは不条理な状況になったりもします。また、「こんなはずでなかった」と思うことが、現実には次から次に起こることもあります。こういったことは、職業的な関わりだけでなく、家庭でも地域でも、その程度に差があれば、遭遇することになります。また、年齢にもあまり関わりなく、境遇が変わったり、環境が変化する局面は同じように起こってきます。例えば、進学による環境の変化もそうです。

本学に入学された皆さんは、高校では普通科に限らず、多様な課程で学んでいます。しかも、AO入試をはじめ、各種の入学試験を経て入っています。滋賀県の出身者が多いものの、2割の学生は全国各地からきています。また、社会で働いて、再び専門性を求めている学生もいます。留学生もいます。このように、いろいろな立場の若者が集っており、家庭環境はもちろんのこと、これまでの教育環境や地域環境は異なっています。入学への思いも違っている可能性があります。

しかし、このキャンパスでの時間の使い方は、それぞれに「命の使い方」そのものになるのです。これまでの生育環境にこだわったり、あれこれ不満を言っている場合ではありません。私たちは境遇を選ぶことはできませんが、生き方を選ぶことができます。「今」というかけがない時間を、精一杯やってみようということになります。この精一杯生きようとするのが、「置かれたところで咲きなさい」ということであり、「置かれたところで輝きなさい」ということでもあります。

加えて、大切なことがあります。どうしても咲けないときもあり、例えば、風雨が強いとき、日照り続きのとき、そんなときは無理して咲かなくともよく、その代わりに根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次の花がより大きく、美しくなるようにと説いておられます。私たちの生きる過程は順風満帆にいかないだけに、苦境に陥っても、くじけることなく根を張る努力をすることが次のステップに繋がることになるのです。

「置かれたところで咲きなさい」を胸に、ともに入学された皆さんとは協力しあい、知識を深めあいながら、確かな技能を身につけ、楽しいキャンパスライフとなりますよう願っているところです。

## 平成25年度 入学式

桜の花が綺麗に咲き始めた4月2日、平成25年度の滋賀短期大学入学式が行われました。生活学科80名、幼児教育保育学科184名、ビジネスコミュニケーション学科94名、計358名の新入生が緊張した面持ちで式に臨みました。

式典では、幼児教育保育学科2回生の合唱団と共に学歌斉唱が行われ、入学を許可された358名の名前が読み上げられました。佐藤学長は、本学の建学の精神である「心技一如」について述べられ、「共に協力し合い、学びを広げ、



広報・図書委員 准教授 手良村 昭子

深めあいながら、確かな技能を身につけ、楽しいキャンパスライフを過ごしてください」とあいさつされました。

新入生を代表して、幼児教育保育学科の坂本沙彩さんが入学宣誓文を読み上げました。

みなさんが、滋賀短期大学で夢に向かって、充実した2年間を過ごされますよう教職員も気持ち新たに頑張っていきたいと思っております。



## 平成25年度 フレッシュマンセミナー

今年も新入生を対象としたフレッシュマンセミナーが、平成24年4月5日に大津プリンスホテルで行われました。佐藤尚武学長と山本剛史学生部長のご挨拶のあと、特別講演では能楽師の吉浪壽晃先生による講演「面白能楽ナビゲーション～能の世界に触れてみよう～」が行われました。そこでは日常では見るのできない貴重な体験をさせていただきました。つづいて奥田先生、柚木先生とⅡ回生による学歌の練習が行われました。新入生、教職員皆で歌詞をじっくり噛みしめながら歌いました。その後、越智先生からの煙草の害についての講演と北尾先生からの平成26年度からの完全禁煙化の取り組みについて説明がありました。



学生支援委員 講師 江見 和明

午後からはプリンスホテルの角田秀人支配人にテーブルマナーについて丁寧に教えていただきました。フレンチのフルコースを初めて食べたという学生も多く、緊張した面持ちでナイフとフォークを使う姿が新鮮でした。最後のオリエンテーションは学科別に行われました。生活学科では新聞紙を使って衣装を制作するワークショップを実施し、幼児教育保育学科では社会人の先輩を交えての交流が行われ、ビジネスコミュニケーション学科では、名刺交換をしながらお互いを褒め合い、親睦を深める取り組みが行われました。

フレッシュマンセミナーには、新入生にとって初めて体験する内容がたくさん含まれていました。これからの2年間も様々な新しい体験をすることでしょう。常に好奇心とチャレンジ精神をもって過ごしてほしいと思います。



## 役職教員あいさつ



### 良い習慣は才能を超える

教務部長 教授 木谷 康子

皆さん、ご進級、ご入学おめでとうございます。新年度を迎えて、新たな気持ちで学校生活に臨まれていることと思います。そんな皆さんに、帯木蓬生<sup>はつきぎほうせい</sup>という作家の「日御子<sup>ひみこ</sup>」という作品に出てくる言葉を紹介したいと思います。

これは2～3世紀頃の北九州で中国や朝鮮半島との交易において何世代も通訳を務める一族の話です。その一族には3つの掟があり、それを代々守り続けることで一族は通訳として重用されてきたというのです。

3つの掟はどれも示唆に富むものですが、その中の一つ「良い習慣は才能を超える」は、私たちも心がけるべきものではないかと思います。「朝起きて、木簡に字を書き、刀子<sup>とうす</sup>で削っては書く。

木簡に書かれた文字を何度も何度も素読する。日が高くなっても同じ仕事をする。日が沈む前の薄暮のなかでも、やはり読み書きをする。その絶え間のない良い習慣があれば、持って生まれた才能などは露ほどの重みもない。」

大学では、それぞれが選んだ専門の道で勉学を深めます。授業では難しいこと、わからないこと、実習や実験ではうまくいかないことは多々あるでしょう。覚えなければならないことも多いです。一夜漬けでは実力はつきません。また、学ぶことは短大の2年間で終わることではなく、卒業後社会に出て生きていく限り続くことです。短大で学びの基礎と「良い習慣」を身に着け、社会人として活躍する力を育てていただくことを願います。



### “新たな一歩”をふみだそう

学生部長 教授 山本 剛史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学して約2か月が経とうとしています。短大生活には慣れましたか？短期大学は社会に出ていく一歩手前の段階になります。また皆さんはこの2年間の間に成人式を迎え正真正銘の大人の仲間入りとなるわけです。つまり皆さんは短大2年間の間に社会人になる準備をしていく事になります。

そこでこの2年間でどのように過ごすかが皆さんの将来を左右するといっても過言ではありません。ぜひ皆さん自身の“新たな一歩”をふみだしてほしいのです。それは教養を身につける事や就職に向けての勉学、クラブやサークル・ボランティア活動、友達をたくさん作って楽しい時間を過ごす事、何でも構わないと思います。何事も受け身

ではなく自分からアクションを起こしていく事だと思います。最初は少しためらいがあったり、躊躇をする事もあるかもしれませんが。でもその時に自分の中で少しの勇気をもって思い切って行動する事です。どんな小さな事でもいいのです。もし自分自身が勇気をもって行動できればその時、自分自身を褒めてあげてください。その積み重ねが“自信”につながっていくと思います。自信とは自分を信じることで人から言ってもらえる事ではありません。自分が心からそう思えたときに初めて自分自身の“自信”になると思います。何か“自信”を持って社会に出ていけるよう、“新たな一歩”をふみだしてください。応援しています。

## 役職教員あいさつ



### 短期大学の魅力

学生募集部長 教授 山中 博史

平成24年度学校基本調査によると、四年制の大学への進学率は平成22年47.9%をピークに平成24年は47.7%と横ばいであったが、短期大学へは平成6年13.8%ピークに平成24年には5.5%となり最低を記録した。一方専門学校では平成16年19.2%をピークに平成21年には14.7%まで減少したが、平成24年には16.8%と上昇している。短期大学の苦戦が続いています。

短期大学は、戦後の学制改革以来女子の高等教育機関として人気が高く、女子の短期大学への進学率は、1994（平成6）年の24.9%をピークに、1975（昭和50）年から1999（平成11）年まで、概ね20%代を維持してきました。就職後数年間働いて結婚退職の後、家庭に入るといった女子のライフサイクルが一般的であった時代には、短期大学を卒業した女子の、一般事務職員としての企業への就職も良好でした。

ところが1999年に労働者派遣法が改正されて一般事務職の派遣が可能になると、これまで短大卒女子の人気職種であった一般事務職を派遣社員で賄う企業が増加するようになりました。ほかにも女性の社

会進出などの要因により、卒業後、一般事務職に就くことを目的としての短期大学志望者は徐々に減少していき、上記の結果となっていると言われています。

四年制への進学率が増加する傾向は仕方ないにしても、専門学校への進学率が盛り返しているのが残念に思います。

大学と学校の違いを高校生に話をする機会があります。大学では学生（Student）、学校と名のつくところでは生徒（Pupil）と言われています。大学は書いて字のごとく「一人で学ぶ」ところです。大きな違いは教養教育が学べるのが大学であり、専門学校ではカリキュラムにありません。

この教養教育と専門教育そして実務教育をバランスよく2年間で学ぶことができるのが短期大学の魅力です。また4年制の大学と比較すると教職員と学生との距離が短く親近感があり、一人一人と向き合ってくれる教職員がいるのも魅力です。

その魅力を2年間を通して伝え、「滋賀短期大学に来てよかったなあ」と卒業生に言ってもらえることが本学の大きなPRになると思っております。



### 司馬さんが愛した近江 ー地域と連携した図書館を目指してー

図書館長 教授 柿木 重宜

今年の学報では、私事で恐縮であるが、司馬さんの思い出を通じて、図書館の話をしたと考えている。司馬さんと初めてお会いしたのが、平成2年の夏の終わり頃だったと思う。私が滋賀県出身であることが分かると、先生は心底から「近江は実にいいところですね」とおっしゃった。その頃はまだ二十代の一大学院生であったが、厚顔を省みず、学術論文をお送りしたところ、すぐに激励のお葉書を頂いたことを今でも覚えている。私が新生生の皆さんに、ぜひ読んで頂きたい書は、司馬史観と呼ばれた歴史小説ではなく、旅を通してその土地の人々の内奥を描いた『街道をゆく』という珠玉のエッセーである。この書で、先生は、様々な名所、旧跡を旅する最初の地として、古の都近江を選ばれている。

司馬さんは時々、講演で「行く春を近江の人と惜しみける」という芭蕉の句を引用されることがある。近江とそこに住む人々を愛された意味において、小説家司馬遼太郎と俳聖芭蕉は共通項を有しているといえよう。新生生の皆さんは、縁あって、本学に入学された以上、図書館を大いに活用して、ぜひ近江の歴史、文化、社会について深く学んでもらいたいと考えている。

本学は、地域と連携した図書館を目指しており、毎年、「美しい日本語コンクール」を実施している。朗読、読み聞かせ、エッセーの各部門を設けているが、この機会を通して、近江のことを調べ、湖都近江の良さを体感してもらえることを願ってやまない。

## 学科長 あいさつ



### 真っすぐに未来は開いています

生活学科長 教授 中平 真由巳

生活学科の学びは、生活者の生きた学問です。生活学科は「生活クリエイティブコース」、「食健康コース」、「製菓マイスターコース」の3つで構成されます。基礎をしっかりとめそれぞれの専門分野を探究することにより、専門の知識・技術を仕事の中で生かし、社会に貢献できる人材を育成します。卒業時には、中学校教諭免許をはじめ栄養士、栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなどの専門性の高い資格が取得でき、卒業後の活躍の場を広げ、将来を拓くことができます。いずれの免許・資格も私たちの毎日の生活と深く結びついており、「食べる」「住む」「着る」という側面

から人々の暮らしと文化、健康を支えます。また、更に深く学びたいと考える学生のために、4年制大学編入の指定校推薦や試験のサポートを行っています。多くの講義、実験・実習を地道に修め、専門性だけでなく、社会に通用する自信や豊かな人間性、自分自身で考え判断する態度を培い、めまぐるしく変化発展する社会に柔軟に対応できる力を身につけ、社会の福祉向上に貢献していただきたいと思えます。

真っすぐに未来は開いています。日々の暮らしの事々を疎かにせず、丁寧に向き合う。そこから始め、おおいに勉学に励んでいきましょう。



### 多様な保育現場に対応できる保育者を目指して

幼児教育保育学科長 教授 奥田 恵子

幼児教育保育学科は、乳幼児期の保育と教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであるという国の考えを基に、幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る人材の育成を目的としています。保育現場は今いろいろと変わりつつあります。今後は幼稚園教諭や保育士に加え、保育教諭という名称も用いられるようになるようです。この保育教諭は、幼稚園免許と保育士資格の両方を持った保育者に使用する名称となり、「幼保連携型認定子ども園」では保育教諭でないと仕事が出来なくなります。

皆さんはぜひこの保育教諭という名称で呼ばれるように、幼稚園免許と保育士資格の両方の取得を目指して頑張ってください。少しハードですが2年間で3年分の内容を学ぶことが出来ます。幼児期の教育・保育の重要性を認識し、責任ある保育者になれるように夢に向かって努力してください。

2年間の学びは社会に出るための準備期間でもあります。社会人として責任ある行動がとれるように私たち一同は皆さんの成長を見守り、誠心誠意応援していきます。そして有意義な2年間であるよう願っています。



### 短大の2年間で社会人としての基礎を作ろう！

ビジネスコミュニケーション学科長 教授 小山内 幸治

ほとんどの学生の皆さんは、本学を卒業したあと、社会に巣立つこととなります。短期大学は、わずか2年間しかありませんが、この間に社会人として必要となる知識や技能、一般常識などを身につける必要があります。本学科では、「ビジネス基礎」という科目を新たに設置し、皆さんに基礎力をきちんと身につけてもらうための体制を整えました。また、実社会と密接に関わりをもった5つのコースを設け、全員にビジネスやIT (ICT) の知識・スキルを身につけさせたいという思いで、それぞれのコースの目的に応じた教育を行っています。

さらに、人間性豊かで、協調性に富み、実社会で活躍できるビジネスパーソンを育成するために教職員が学生と真剣に向き合い、情熱をもって教育にあたっています。

私たち教職員は、学生の皆さんが、本学科に入学してよかったと思えるような親身の指導を心がけています。相談したいこと、勉強で聞きたいことがあるときは、遠慮なく研究室を訪ねてください。皆さんが、満足できる充実した2年間を送れるよう願っています。

## 新入教員あいさつ



### 情熱をもって

生活学科 特任助教 **高橋 圭**

4月から生活学科で栄養学を教えます、高橋圭です。自己啓発本を読むと、情熱や夢・志といった言葉がよく出てきます。情熱を注ぎ行動していれば必ず夢に近づいていく。情熱をもって行うことが上達への近道である。私もですが、皆さんも何か夢や情熱をもって滋賀短に來られたことと思います。

「I (We) support but not control you.」大学の恩

師の受け売りですが、「何をするかは皆さん自身の責任で決めることなので、私（教員）は強制しません。ただ皆さんを全力でサポートするだけです。」という内容の言葉です。皆さんが持っている情熱や夢に対して、少しでも良いサポートができるように私自身も情熱をもって行動していきたいと考えています。よろしくお祈りします。



### 「目標」をしっかりと見据えて！

幼児教育保育学科 准教授 **森 みどり**

今年度より「教育原論」、「保育原論」などの免許・資格に必要な講義を主に担当しています。

1回生の皆さんだけでなく、2回生の皆さんも、まだまだ自分の進路については悩んだり迷ったりすることがあると思います。そんな時は、自分が「やりたい!」と思ったこと、「目指したい!」と思ったことを頭に思い返してみてください。私達は、皆さんが決めた目標に到達できるよう、全力でサポートし

ていきたいと思っていますが、目標それ自体、つまり皆さんが「何をを目指すのか」は、皆さん自身が決めるしかありません。

もちろん、やりたいことが分からなくなった時、相談にのったりアドバイスをしたりすることはできます。けれど、最終的に「目標」を定めるのは自分自身だということを決して忘れずに、その「目標」を見据えて、前に前に突き進んで行って下さい。



### 「ことば」と向き合う

ビジネスコミュニケーション学科 特任講師 **金澤 雄介**

4月より、ビジコミ学科の特任講師としてお世話になっております、金澤雄介です。「日本語表現」や「ことばと人間」など、ことばに関する科目を担当しております。ことばの勉強と聞くと、国語や英語の時間に習った「文法」を思い浮かべ、苦手意識を持つ人もいるかもしれません。しかし、ことばには大変面白いしくみがたくさん備わっています。学生の皆さんには、大学生あるいは社会人として必要な正し

い日本語の習得も含め、ことばの世界とぜひ向き合っ

てほしいと思います。滋賀短期大学は、琵琶湖の美しい風景が眼前に広がる、素晴らしいところにあると思います。この恵まれた環境で、また2年間という限られた時間を有効に使い、心身ともに成長してくれることを願っています。

## 事務局長あいさつ



### 就任に際して思うこと

事務局長 **福地 茂**

この4月1日付で、後藤前事務局長からバトンを受け、滋賀短期大学の事務局長に就任いたしました。滋賀短期大学に入職したのが約14年前。高等教育機関に飛び込んだ当時、まさか自身が事務局長に着任することになろうとは思っていませんでした。短大に入ってから、主に学生の支援、特に学生の就職指導を支援する業務に様々な形で関わることが楽しく、わくわくしながら日々を走り抜けてきたような気がします。そのような私が、歴史ある滋賀短期大学の事務を統括する役職を拝命したことを大変光

榮に感じるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いがしています。

近年、少子高齢化、団塊世代の退職者、18歳人口の激減、大学全入時代等、大学を取り巻く環境は大変厳しい状況下にあることを肝に命じ、学生が滋賀短期大学に入学して良かったと思ってもらえる短大になるよう頑張りたいと思います。

学長先生を始め教職員が一丸となって、滋賀短期大学が発展充実するよう、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 学生自治会

### 「次も頑張ろう！」～そう思える瞬間がある

去年の4月、私は友達に誘われて学生自治会室を訪れました。人前に出ることが苦手な私は、クラブやサークルに入ろうとは思っていませんでした。しかし、学生自治会の活動を聞き、明るい先輩方にも魅力を感じ、「短大で何かしてみよう！」という気持ちになりました。そして、学生自治会役員になることに決めたのです。

学生自治会役員とは、会員である全学生を代表して行事の企画・運営をしたり、学生自治組織として他大学とも連携を図る役割を担っています。なかでも、新入生歓迎体育大会と純美禮祭が大きな割合を占めています。教職員の方々のサポートも受けながら、学生が企業との関係の中で行事に取り組むことは新

学生自治会長 池田 愛里 (幼児教育保育学科2回生)

鮮で、やり甲斐があり、社会的スキルも身につけることができると感じました。責任の重さから悩むこともありますが、行事が成功すると達成感で満たされます。「ありがとう、楽しかったよ!」と言われるととても嬉しく、「よし次も頑張ろう!」という気持ちになります。自治会役員になって本当に良かったと思える瞬間です。

この1年間で、自分にとってかけがえのない経験や仲間との時間を持つことができました。いまだに人前に出たりすることは苦手ですが、大切な仲間とともに、これからも自治会役員の活動を頑張っていきたいと思っています。

皆さんも、2年間しかない短い学生生活で達成感に満たされてみませんか。

## アメリカ (テキサス、ロングビーチ) 研修旅行 (女子バスケットボール部)

女子バスケットボール部 監督 山本 剛史

2月12日から22日までの11日間、女子バスケットボール部2回生がテキサス州・A&Mコマース大学、並びにカルフォルニア州・ロングビーチ大学バスケットボールチームを訪問し、国際交流事業を実施してきました。

この国際交流事業は今年で6年目になりました。12日から17日までのテキサスでの6日間では、交友のあるニコル・アンダーソン氏のチームを訪問し、練習並びに公式戦の見学、キャンパスツアー、大学寮生活の体験などを通しアメリカの選手と交流し、生活や文化に触れることができました。今年は特に3日目にメンタルトレーニングのセッションを開催し、そこで本学の選手の2年間の成長をパワーポイントを使って英語でプレゼンテーションしました。選手にとってはいい経験になったと思います。

その他本場のNBAを見たりダルビッシュ投手の所属するレンジャースタジアムの見学、田舎町のストックヤードも訪れました。17日にカリフォルニアに移動し、ロングビーチ大学の練習や公式戦も見学し、ここでもハリウッドやサンタモニカ、ディズニーランドなど西海岸の名所も訪れ本当に充実した研修旅行となりました。海外の生活や文化に触れ、たくさんの人たちと交流することは人生における大きな財産になったと思います。



## 図書館よりお知らせ

図書館係長 丸谷 知子

このコーナーで、少し本学図書館の紹介をさせていただきます。

本学図書館では各学科に関する資料を中心に集めています。たとえば、生活学科は栄養士・製菓・住居関係の図書を中心に、幼児教育保育学科は絵本や指導案などを中心に、ビジネスコミュニケーション学科は医療秘書関係、簿記などを中心に、各学科関係中心の蔵書を構成しています。図書館では、このように、カリキュラムに沿った資料を豊富に揃え、皆さんの利用に答えられるよう頑張っています。レポート作成や教育実習の準備など、積極的に図書館を利用してください。

もちろん、学習の資料だけでなく、話題作等も揃えています。数多くの図書を手にとって見てください。また、DVDコーナーもありますので、休講など時間の余裕のあるときは見に来てく

ださい。図書館の資料をうまく利用して、充実した学生生活を送って下さい。

\*貸出冊数：1人…15冊

\*貸出期間：2週間

(長期休暇中・実習中の特別貸出については、その都度掲示します)

\*貸出方法：学生証と借りたい資料をカウンターに持って来て下さい。

\*外部貸出できない資料

辞書・事典類 各種白書類

雑誌の最新号等 (バックナンバーは貸出可)

ビデオソフト・DVD (著作権法の関係により館内でのみ貸出)



## 同窓会だより

### 新入会員のお知らせ

#### ●平成25年度新入会員

生活学科…………… 88名  
 幼児教育保育学科……………156名  
 ビジネスコミュニケーション学科……………109名 計353名

#### ●年次評議員

生活学科 : 辰巳清孝さん、田中良祐さん  
 幼児教育保育学科: 小西佑太郎さん、田口友佳さん  
 ビジネスコミュニケーション学科  
 : 鵜飼 彩さん、今井亜紀さん

#### ●評議員 鵜飼 彩さん

### 平成25年度同窓会総会・懇談会のご案内

今年度は総会の後に、生活学科製菓マイスターコースの金丸政義先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。みなさんでお菓子作りの楽しさを体験してください。ご参加をお待ちしております。

- 日 時：  
 平成25年7月7日(日)  
 9：00～ 受付  
 (玄関ホール)  
 9：30～ 総会  
 10：00～ お菓子作り  
 (111教室)  
 12：30～ 懇談会  
 (本学食堂)



- 持参品：エプロン・三角巾・上履き  
 ○会 費：1,000円(当日受付にて徴収します)  
 ○申込み方法：  
 ①6月上旬頃送付する総会案内同封の葉書で申込み  
 ②下記FAXで、送信する  
 会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、  
 同窓会事務局宛077-523-5124  
 ○申込み締切日：平成25年6月20日(木)

## 平成24年度 就職状況について

学生支援課 主任 松田 美枝

平成24年度、本学にいただいた求人票の件数は企業・幼教関係ともに前年度を上回りました。早くから就職活動に意欲的に取り組んでいた学生には、その点では活動しやすかったのではないのでしょうか。一年を通して、前年の同時期と比較すると内定率は良く、頑張りがストレートに反映されている印象を受けました。その反面、一般企業就職希望の苦戦は常に感じられ、内定までの道のりの長さを痛感した学生も多かったと思います。

また、一部の学生には、就職を希望しながら就職活動を具体的にできないまま、せっかくの求人を見失ってしまったという人もあり、求人票の存在を知っているのになぜ動かないの？と思うことも度々でした。

とはいえ、今年度の就職率は、生活学科98.5%、幼児教育

保育学科99.2%、ビジネスコミュニケーション学科97.6%、三学科全体では98.6%となり、前年度を上回る結果となりました。

就職活動は、それをを行う人本人が主体的に動かなければいけません。それは自分が本当に希望する職業とは何なのかを考え、その希望を実現させるぞという強い決意と、それを相手に伝える熱意があつてこそだと思います。就職活動をしているけれど内定に結びつかない人は、今一度自分の就職活動を振り返り、原点に戻ってみる必要があるかもしれません。そして、晴れて社会人として頑張っている卒業生の皆さん、平成24年度卒業式での佐藤学長の式辞にもありました通り、「石の上にも3年」の諺を胸に、社会人としての基礎を作り、それぞれの場でご活躍されますことを切に願っております。

## 資格取得状況

#### ●生活学科

中学校教諭二種免許(家庭)…………… 2名  
 栄養教諭二種免許…………… 7名  
 フードスペシャリスト…………… 19名  
 訪問介護員2級…………… 10名  
 製菓衛生師受験資格…………… 37名  
 製菓衛生師…………… 31名  
 栄養士…………… 29名

#### ●幼児教育保育学科

幼稚園教諭二種免許…………… 132名  
 保育士資格…………… 124名  
 児童厚生2級指導員…………… 17名  
 レクリエーション・インストラクター…………… 1名

#### ●ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士…………… 12名  
 上級情報処理士…………… 6名  
 秘書士…………… 77名  
 情報処理士…………… 80名  
 医事管理士…………… 59名  
 医療管理秘書士…………… 53名  
 レクリエーション・インストラクター…………… 13名  
 訪問介護員2級…………… 4名  
 ウェブデザイン実務士…………… 12名

## 卒業証書・学位記授与式

広報・図書委員 准教授 深尾 秀一



平成25年3月15日、第42回滋賀短期大学卒業証書・学位記授与式が、厳かな雰囲気の中、挙行されました。学歌斉唱のあと、卒業生一人一人の氏名が読み上げられ、各学科の代表者

本年度は、生活学科、幼児教育保育学科、ビジネスコミュニケーション学科から男子学生30名を含む352名が卒業しました。なお、式典後には学長賞授与、免許状・資格証明書・認定証交付および資格関係協会からの表彰者披露が行われました。穏やかな春風の中、スーツや袴姿の卒業生たちは緊張しながらも希望を胸に学び舎を巣立っていきました。卒業生の皆様の今後のご活躍をお祈りいたします。

に卒業証書・学位記が手渡されました。

佐藤学長は卒業生に向けて「皆さんには、エネルギーがあふれんばかりにあります。そのエネルギーを出し惜しみせず、仕事は身体で覚えてください。そして、やがて地域を支える人として、一隅を照らすことができるようになってください。」「皆さんの前途に幸多からんことを祈念します。」という式辞を贈られました。

ビジネスコミュニケーション学科の伊藤由美子さんが卒業生代表として謝辞と今後の決意を述べました。また、卒業生から大学への記念品として「屋外灯とベンチ」の目録が贈呈されました。



## 卒業記念パーティー

元学生支援委員 講師 諏訪 佳代

卒業証書・学位記授与式の後、琵琶湖ホテルにおいて、平成24年度卒業記念パーティーが開催されました。

はじめに、今年度でご退職される10名の教職員のご紹介とご挨拶、花束贈呈が行われました。出し物のカラオケでは、たくさんの希望者が集まりました。教職員と卒業生がともにステージに上って歌い踊る一幕もあり、大変な盛り上がりを見せました。本学のアットホームな雰囲気、学生と教職員の一体感がもたらした素敵な瞬間であったと思います。

また、パーティーの終盤におけるスライドショーでは、短大生活2年間の思い出がスクリーンに映し出されました。入学式から今日までの短くも濃厚な学生生活がそれぞれの胸に思い起こされたことでしょうか。卒業生は、友人や恩師と過ごす最後の時間を惜しむように過ごしていました。

卒業生のみなさんのご活躍を、教職員一同お祈りしています。そしてまた、いつでも大学へ遊びに来てくださいね。お待ちしております。



## 退職職員あいさつ



### 滋賀短大を去るに当たり

生活学科 元特任教授 佐伯 行一

本学に勤務するようになりましてから4年の月日が瞬く間に過ぎ去りました。

それまでの教員生活では経験したことのない数々のことを本学で体験させて頂き、実に新鮮で楽しい毎日をごさせて頂きました。一方で、私自身が本学に対して少しでもお役に立てたでしょうかと反省致しております。

4月からは奈良いかるがの郷にて心しずかに残された日々を過ごし、「至老増娛」を味わいたいと思っております。「至老増娛、老いに至りて楽しみを増す」、人生の本当の楽しみは人生の後半

にこそ有るのだという貝原益軒のことばです。人生の後半と云いまして私の場合は崖っぷちに居りますが…。「心しずかに従容として余日を楽しみ、いかりなく、慾すくなくして、残軀をやしなふべし。老後一日も楽しまずして、空しく過ごすはおしむべし。老後の一日、千金にあたるべし。」(養生訓 巻八より)

後になりましたが、歴史と伝統のあるこの滋賀短期大学が、今後よりいっそう輝きが増しますように願っております。

本当にありがとうございました。御礼申し上げます。



### 日々是修養

幼児教育保育学科 元教授 越後 哲治

平成2年本学にお世話になって以来、23年でお別れすることになりました。それまで4年制大学で過ごしてきた私にとって、赴任早々新しいことだらけで、新しい職場に適應できるのか、心配しながらのスタートでした。

この意味で毎日が学びの日々でした。特に印象深い経験は、毎年夏休み、春休みの実習訪問指導です。以前には授業期間中の訪問もありました。そこでは生きた保育実践、学生さんの真剣な

取り組みに接することができ、訪問教員にとっても学びの場です。

最初の挨拶は、「滋賀短期大学の〇〇です。実習生がお世話になっています。よろしく願います。」です。かつては短期大学で学生であった方が、今や実習生のみならず、訪問教員にとっても、指導者、先生です。

職場の生活でも同じです。職員の皆さんだけでなく、学生さんからも日々学ぶことができました。皆さん有難うございました。



### 34年間滋賀短期大学ありがとうございました

元事務局長 後藤 俊男

私が本学へ勤めたのが昭和54年5月、そして34年間、月日の経つのは本当に早いものです。その間、アssenブリアワーやフレッシュマンキャンプ、リーダーズキャンプそして浙江林学院との相互夏季短期留学等、学生の皆さんとの色々な体験。入学試験制度の改革や学園総合改革の中での男女共学化、そして平成22・23年度の日本私立短期大学協会での教務委員と充実した日々を送ることが出

来ましたことは、教職員の皆さま方のお蔭と感謝申し上げます。今後、理事長・学長の強いリーダーシップの下、教職員一丸となって「良い教育」を充実させ学生の皆さんの一人でも多くが卒業する時「滋賀短期大学で、勉強出来て良かった」と云ってもらえるような教育を願っております。学生の皆さまと教職員の皆さまのご健勝と、滋賀短期大学のますますのご発展を祈念いたしております。長い間お世話になり誠にありがとうございました。

## 短大学歌、CD録音しました！

幼児教育保育学科 准教授 柚木 たまみ

今回、相愛大学音楽学部音楽マネジメント学科のご協力のもと、同校のスタジオにて、学歌音源をCDに収めました。3月15日の卒業式では早速使用することができ、好評を頂いております。ご協力いただいた皆様、改めて御礼申し上げます。

相愛大学音楽学部音楽マネジメント学科

安井敏雄教授、久野勝也非常勤講師

2回生：河村玲奈さん、山田実花さん、有元大識さん

1回生：西岡美咲さん、江井詩織さん

演奏：指揮 里井宏次（大阪音楽大学教授、The TARO Singers主宰）

歌 The TARO Singers

（廣澤敦子、田中希美、須藤小百合、柚木たまみ、橋上純二、林康宏、山本明、木村孝夫）

ピアノ 松永美穂（本学非常勤講師）



# 入試情報

## 平成26年度入学試験のお知らせ

募集学科および募集人員

- 生活学科 80名  
生活クリエイティブコース/食健康コース(栄養士養成課程) 30名  
製菓マイスターコース35名
- 幼児教育保育学科 170名
- ビジネスコミュニケーション学科 100名 **NEW**  
オフィス実務コース/ITビジネスコース/ホスピタリティコース/  
スポーツ健康コース/流通・ロジスティクスコース  
※平成26年4月、「ビジネスコミュニケーション学科」のコースが新しくなります。



A O 入 試 (事前面談)			
区 分	I 期	II 期	III 期
受 付 期 間	8月1日(木)～8月5日(月)	8月19日(月)～8月27日(火)	9月17日(火)～9月24日(火)
面 談 日	8月8日(木)・8月9日(金) どちらか1日(受付後、通知します。)	8月30日(金)・8月31日(土) どちらか1日(受付後、通知します。)	9月28日(土)・9月29日(日) どちらか1日(受付後、通知します。)
結 果 発 表 日	8月12日(月)	9月3日(火)	10月2日(水)

※本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込をした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。

詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試		一般入試	
	前期(専願・併願)	後期(専願・併願)	I 期	II 期
出 願 期 間	10月7日(月)～10月22日(火)	11月25日(月)～12月10日(火)	1月6日(月)～1月30日(木)	2月24日(月)～3月6日(木)
試 験 日	10月26日(土)・27日(日) 両日受験可能	12月14日(土)	2月4日(火)・5日(水) 両日受験可能	3月11日(火)
合 格 発 表 日	11月1日(金)	12月20日(金)	2月7日(金)	3月14日(金)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。  
平成26年度入学試験等の詳細は、6月中旬頃完成予定の大学案内・学生募集要項でご確認をお願いします。  
本学独自の奨学金制度もあります。  
純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)・・・純美禮学園に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を免除します。  
入学支援制度による入学科免除……………調査書の学習成績概評がⒶ(マルA)の者には、入学科を免除します。

### ●オープンキャンパス 6/30(日)、7/20(土)、7/28(日)、8/18(日)、9/16(月・祝)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。  
また、今年も秋のオープンキャンパスを純美禮祭(学園祭)中の11月3日(日)に開催します。  
是非、受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にも是非お声掛けください。宜しく願い申し上げます。

### ●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内など資料を配布しております。  
【見学受付】  
平日(9:00～16:30) 入試広報課まで直接お越しください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内のご案内をいたします。  
【土曜日・日曜日・祝日】  
玄関でキャンパスマップ、大学案内などの資料一式を配布しております。キャンパス内は自由にご見学できます。

## 平成25年度入試結果【志願者高校一覧(AO入試事前面談含む)】

平成25年度の志願者総数は429人で、380人の合格を発表しました。出願のあった高校は、つぎのとおりです。

**北海道** クラーク記念国際 **東京都** 東京学園/科学技術学園 **石川県** 金沢西/鹿西/鵬学園 **福井県** 武生/美方/若狭東/北陸/仁愛女子/敦賀気比 **長野県** 諏訪二葉 **愛知県** 黄柳野 **三重県** 名張/名張桔梗丘/伊賀白鳳 **滋賀県** 膳所/堅田/東大津/大津/瀬田工業/大津商業/彦根西/彦根工業/彦根翔陽/長浜/長浜北/長浜農業/長浜北星/八幡/八幡工業/八幡商業/八日市/八日市南/草津/栗東/野洲/水口/水口東/甲南/信楽/日野/能登川/愛知/虎姫/伊香/高島/安曇川/草津東/湖南農業/河瀬/玉川/守山北/甲西/伊吹/北大津/国際情報/大津清陵/石部/比叡山/近江/近江兄弟社/綾羽/滋賀学園/光泉/彦根総合/滋賀短期大学附属 **京都府** 桂/桃山/向陽/城陽/田辺/亀岡/園部/須知/綾部/工業/東舞鶴/西舞鶴/久美浜/東稜/日吉ヶ丘/紫野/南丹/久御山/西城陽/鳥羽/京都すばる/京都八幡/京都両洋/京都精華女子/京都光華/京都西山/京都明德/洛陽総合/京都聖カタリナ/福知山淑徳/京都翔英/京都工科大学校 **大阪府** 日新/プール学院/金蘭会/四天王寺/四條畷学園/向陽台 **兵庫県** 須磨学園/第一学院養父校 **奈良県** 奈良大学附属/天理教校学園 **和歌山県** 田辺 **鳥取県** 米子北 **山口県** 山口県桜ヶ丘 **その他** 高卒認定試験合格、認定、外国の学校

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。入試広報センター(入試広報課) TEL:077-524-3848 メール:tnyusi@sumire.ac.jp

# 短期大学行事等開催状況（平成24年12月～平成25年5月）

（総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。：短大事務局）

## 12月

- 1日(土) MOS対策講座、公務員試験対策講座
- 4日(火) 保育実習連絡協議会
- 6日(木) 12月教授会
- 7日(金) コミュニケーション検定試験対策講座
- 8日(土) 公募制推薦入試（後期）・スポーツ特技推薦入試（Ⅱ期）、社会人特別入試、外国人留学生（国内居住者）特別入試
- 9日(日) コミュニケーション検定試験、栄養士試験
- 10日(月) 教務委員会、献血
- 11日(火) 月曜日指定授業
- 12日(水) 臨時教授会
- 13日(木) 学生支援委員会、広報・図書委員会
- 14日(金) 甲南高校見学会
- 15日(土) MOS対策講座
- 16日(日) フードスペシャリスト資格認定試験
- 17日(月) 社会人特別入試、学園事務連絡会議
- 19日(水) 金曜日指定授業
- 20日(木) 企画委員会、生活科会、幼教科会・ビジコミ科会
- 21日(金) ビジネス能力検定講座
- 22日(土) 公務員試験対策講座
- 25日(火) 授業冬期休業（～1/4(金)、学生募集委員会
- 27日(木) 仕事納め
- 28日(金) 特別休暇（～1/4(金)）

## 1月

- 7日(月) 仕事始め、授業再開、職員人権研修会
- 10日(木) 1月教授会
- 11日(金) ビジネス能力検定講座
- 12日(土) 公務員試験対策講座
- 17日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 18日(金) ビジネス能力検定講座
- 19日(土) 大学入試センター試験日、公務員試験対策講座
- 20日(日) 大学入試センター試験日
- 24日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会
- 25日(金) ビジネス能力検定講座
- 26日(土) 公務員試験対策講座
- 28日(月) 後期定期試験（～2/1(金)）
- 29日(火) 社会人特別入試
- 31日(木) 企画委員会

## 2月

- 4日(月) MOS対策講座、ビジネス能力検定講座、保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰ・製菓特別実習開始
- 5日(火) 一般入試（Ⅰ期）、入試検討会議
- 6日(水) 一般入試（Ⅰ期）、入試委員会
- 7日(木) 2月教授会、MOS対策講座、ビジネス能力検定講座、幼教臨時科会、FD模擬授業発表
- 8日(金) MOS対策講座、ビジネス能力検定講座、入試委員会
- 9日(土) 公務員試験対策講座
- 13日(水) ビジネス能力検定講座
- 14日(木) MOS対策講座、学生募集委員会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 15日(金) MOS対策講座
- 16日(土) 公務員試験対策講座
- 19日(火) 2回生後期成績交付、卒業予定者学生満足度調査、入試検討会議

- 20日(水) 2回生後期再試験、社会人特別入試
- 21日(木) 企画委員会、学園事務連絡会議、生活科会、幼教科会、ビジコミ科会、公務員模試
- 23日(土) 公務員試験対策講座
- 25日(月) P検（準2）対策講座
- 26日(火) P検（準2）対策講座
- 27日(水) P検（準2）対策講座
- 28日(木) 教授会、P検（準2）対策講座

## 3月

- 1日(金) P検（準2）対策講座
- 2日(土) 公務員試験対策講座
- 7日(木) 社会人特別入試
- 12日(火) 一般入試（Ⅱ期）、社会人特別入試
- 13日(水) 臨時教授会
- 14日(木) 教務委員会、広報・図書委員会
- 15日(金) 卒業式、卒業記念パーティ（於：琵琶湖ホテル）
- 19日(火) 学生募集委員会
- 21日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会
- 22日(金) 新1回生写真撮影、学生生活オリエンテーション
- 23日(土) 非常勤講師予定者教務説明会
- 25日(月) 新2回生成績交付、教務オリエンテーション
- 26日(火) 新2回生後期再試験
- 27日(水) オープンクラス、就職ガイダンス
- 28日(木) 企画委員会
- 29日(金) 退職辞令交付、離任式

## 4月

- 1日(月) 辞令交付、拡大入試委員会、4月教授会、臨時学生支援委員会
- 2日(火) 入学式
- 3日(水) オリエンテーション、新2回生健康診断
- 4日(木) 新1回生健康診断、教務委員会、学生部オリエンテーション
- 5日(金) フレッシュマンセミナー（於：大津プリンスホテル）
- 8日(月) 前期授業開始
- 11日(木) 学生支援委員会、広報・図書委員会、キャリア打合せ会
- 13日(土) 公務員模試
- 15日(月) ビジネス能力検定講座
- 18日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会
- 22日(月) ビジネス能力検定講座
- 25日(木) 企画委員会、拡大学生募集委員会、下宿生の集い
- 27日(土) 公務員模試
- 29日(月)（昭和の日）月曜日授業、ビジネス能力検定講座

## 5月

- 2日(木) 5月教授会
- 9日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 10日(金) 創立記念日、男子学生の集い
- 11日(土) 公務員試験対策講座
- 13日(月) ビジネス能力検定講座
- 16日(木) 生活科会、幼教科会、ビジコミ科会
- 20日(月) ビジネス能力検定講座
- 23日(木) 企画委員会
- 25日(土) 月曜日（幼Ⅱ）指定授業、MOS対策講座
- 27日(月) ビジネス能力検定講座
- 29日(水) 学生自治会総会

## 「教員の主な研究活動・社会的活動の紹介」2012年度 (2012年4月～2013年3月)

### ●著書

- 佐藤 尚武 ■ (共)『睡眠と健康』放送大学教育振興会 3月  
松木 宏史 ■ (共)『福祉+α 生活保護』(第10章) ミネルヴァ書房 3月  
(共)『新選 社会福祉』(第5章) 株みらい 3月  
安井 恵子 ■ (共)『保育のこれからを考える保育・教育課程論』保育出版社 5月  
柿木 重宜 ■ (単)『日本語再履修』ナカニシヤ出版 4月  
江見 和明 ■ (共)『消費者サイドの経済学 改訂版』同文館出版 4月  
清水たま子 ■ (共)『ビジネスのマナー・文書・実務の基礎知識』株ぎょうせい 4月

### ●本学研究紀要第38号掲載学術論文・研究ノート(2月)サブタイトル省略

- 中平真由巳 ■ (共)使用回数による鍋からのアルミニウムの溶出  
長尾 綾子・諏訪佳代・木谷康子  
■ (共)「教職実践演習(栄養教諭)」の一報告  
高橋ひとみ・森浦(栗本)麻衣子・中平真由巳・木谷康子  
■ (共)滋賀の食文化財の伝承の可能性に関する一考察  
越後 哲治 ■ (単)シュライエルマッハーの幼児期カリキュラム論  
古橋紗人子 ■ (単)授業研究Ⅱ「保育内容総論」  
安井 恵子 ■ (単)保育者養成機関における男性保育者の養成について  
柿木 重宜 ■ (単)近代「国語」における「棒引仮名遣い」の終焉  
山中 博史 ■ (単)幼児の運動能力についての一考察(5)  
末澤亜矢子 ■ (共)The Use of Refusals in Junior High School English Textbooks  
松木 宏史 ■ (単)「子どもの貧困」と保育士養成  
前川 頼子 ■ (単)「保育内容総論」について

### ●学術論文 サブタイトル省略

- 長尾 綾子 ■ (共)におい識別装置及びGC/MSによる腐敗臭豚豚の簡易判定について 武庫川女子大学紀要(自然科学) 3月  
早川 滋人 ■ (共)治療導入時の心理アセスメントに基づいたチームアプローチにより回復した慢性期の女性摂食障害の1例 精神科 7月

### ●学会発表など サブタイトル省略

- 中平真由巳 ■ (共)油量の違いが揚げ物の揚げり具合に及ぼす影響 日本調理科学会平成24年度大会 8月  
鈴木 晴香・中平真由巳  
■ (共)調理学実習前後におけるまな板上からの分離菌 日本家政学会関西支部第34回研究発表会 10月  
高橋ひとみ・森浦(栗本)麻衣子・中平真由巳  
■ (共)地域連携とエゴマの商品開発の報告 第6回日本食育学会学術大会 5月  
森浦(栗本)麻衣子・高橋ひとみ・中平真由巳  
■ (共)滋賀の食事の良さを学ぶ地域伝統食実習の取り組み 第6回日本食育学会・学術大会 5月  
(共)近畿における通過儀礼とその食事の認知・経験の世代間比較(滋賀県) 日本調理科学会平成24年

度大会 8月

- 手良村昭子 ■ (単)領域・保育内容表現(造形)における保育実践を通じた学生の学びの考察 全国保育士養成協議会 第51回研究大会 9月  
古橋紗人子・安井 恵子・前川 頼子  
■ (共)保育士養成に関する授業研究 全国保育士養成協議会第51回研究大会 9月  
山本 剛史 ■ (共)バスケットボールのフリースローにおける質的分析を用いたコーチングの事例研究  
(共)球技選手の「かわす」動作の評価方法の検討 第63回日本体育学会 8月  
柚木たまみ ■ (共)ALS患者に対する訪問音楽療法 日本音楽療法学会近畿支部 3月  
小山内幸治 ■ (単)日本の初等・中等教育における金融教育の現状 第2回金融教育研究会 9月  
末澤亜矢子 ■ (共)Refusals in Junior High School English Textbooks 全国語学教育学会第38回年次国際大会 10月  
清水たま子 ■ (単)短期大学におけるビジネス実務教育の現状 日本産業教育学会名古屋産業教育研究会 3月

### ●展覧会・演奏会

- 手良村昭子 ■ AKIKO TERAMURA EXHIBITION-Forest Moon- 画廊ギャラリー風の門 8月/空の青 月の夢 展 画廊ギャラリーファブリカ村 9月/遊展 アートスペース東山 11月～12月  
深尾 秀一 ■ 立体造形「日和」滋賀県造形集団 第38回造形展 滋賀県立近代美術館ギャラリー 11月  
柚木たまみ ■ 柚木たまみソプラノリサイタル 京都堀川音楽高等学校音楽ホール 9月/The TARO Singers 第19回定期演奏会 いずみホール 6月/同 第14回東京定期演奏会 東京文化会館小ホール 10月/同 チャリティーコンサートin仙台 宮城野区文化センター 3月

### ●その他の発表

- 佐藤 尚武 ■ 睡眠学教育講座テキスト(2012年度版) 日本睡眠教育機構 7月  
高橋ひとみ・森浦(栗本)麻衣子・中平真由巳  
■ 調理文化の地域性と調理科学 日本調理科学会誌 6月  
古橋紗人子 ■ 『月刊保育とカリキュラム』「連絡帳の書き方」ひかりのくに株式会社 4月～3月(毎月)  
松木 宏史 ■ (書評)豊田保『福祉コミュニティの形成と市民福祉活動(第2版)』総合社会福祉研究第40号 5月  
安井 恵子 ■ 『月刊保育とカリキュラム』「遊びの展開」ひかりのくに株式会社 4～2月(隔月)  
柿木 重宜 ■ 大学教育における「地名学」について 地名探究第10号 4月  
片山 友子 ■ 医療秘書と医療事務者に寄せる学生の関心の実際 医療秘書実務論集 5月

### ●国際的活動

- 中平真由巳・高橋ひとみ  
■ “Introducing Food Culture of Japan” Manjushree English Boarding High School (ネパール) 9月  
山本 剛史 ■ バスケットボール公式戦アシスタントコーチ

A&Mコマース大学 (アメリカ) 12月・2月/メンタルトレーニングセッション A&Mコマース大学 (アメリカ) 2月

## ●社会的活動

佐藤 尚武 ■草津市教職員研修講座講師 草津市立教育研究所 8月/睡眠学教育講座講師 草津市市民交流プラザ 8月・11月、神戸臨床研究情報センター 1月/2012湖っ子食育審査員 滋賀県教育委員会 1月

中平真由巳 ■近江美味しもの KBS京都ラジオ 7月・10月/食文化記事 中日新聞 7月・10月/湖国探研 京都新聞 2月

中平真由巳・高橋ひとみ

- 滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座 調理実習の部 本学 8月/こどもの講座「こども料理教室」講師 本学 8月/滋賀県栄養士会 児童福祉施設における料理講習会 本学 9月/第10回ザ・地産地消 家の光料理コンテスト 社団法人家の光協会・JA全国女性組織協議会 9月/フェスタ2012 G-NETしが 近江八幡市 10月/PTA 教養委員会 料理講座 桃山学院高等学校 11月/広がる地産地消 日本農業新聞 1月/魚のゆりかご水田米を使ったレシピ 大津市県庁 3月/滋賀の伝統的な料理を活用した食事バランスガイド レシピ集 3月

中平真由巳・高橋ひとみ・森浦(栗本)麻衣子

- 行事食 県在住3世代に調査 京都新聞 10月

清水まゆみ ■滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座講師 本学 8月/虎姫高校SSHフィールドワーク 本学 11月

長尾 綾子 ■第2回「食と健康展」お弁当コンテスト審査委員長 守山セルバ 8月/虎姫高校SSHフィールドワーク 本学 11月

高橋ひとみ ■食文化記事 中日新聞 9月・3月/近江美味しもの KBS京都ラジオ 9月・3月

高橋ひとみ・中平真由巳

- こども料理教室 びわ湖こどもの国 5月・11月/栗東市観光物産展開催エゴマ商品出店 京都競馬場 5月/滋賀県栄養士会 児童福祉施設における料理講習会 G-NETしが 9月

高橋ひとみ・鈴木 晴香

- 近畿地域食育実践者等の交流会(ポスター発表) 山西福祉記念館 2月

奥田 恵子 ■滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座講師 本学 8月/家庭教育支援講座講師 洪川市民センター 9月・10月・12月/クリスマス会 びわ湖大津館 12月

荻田 純久 ■保育カウンセリング 洛東幼稚園 5月・6月・9月・11月・2月/研修講師「子育てを考える～保護者のおもい、先生のおもい～」逢坂公民館 7月/家庭的保育研修講師 本学 8月・12月/研修講師「児童の発達理論」栗東市商工会館 2月

越智 純子 ■特定の者に対する医療的ケアの実践講習講師 京都府立南山城特別支援学校 8月/医療的ケアを要する児童生徒の健康管理に関するアドバイス 京都府立南山城特別支援学校 9月/小児神経科校医 京都市立呉竹総合支援学校 2012年度

早川 滋人 ■標準版家族心理教育研修会講師 高知市 8月・草

津市 11月/教員免許状更新講習講師 滋賀大学 8月/コクーンクラブ ボランティア養成基礎講座 講師 野洲図書館 10月

古橋紗人子 ■大阪府0,1,2歳児保育専門ゼミナール講師 大阪府社会福祉協議会 5月～3月/乳児保育研修講師 神戸市子育て支援部 6月/乳児保育研究会講師 滋賀県 6月/一時保護所ボランティア養成講座講師 NPO法人子どもの虐待防止ネットワークしが 7月/保育研究集会助言者 奈良県 7月/第三者評価機関評価者 全国保育士養成協議会 1月/次世代育成支援対策地域協議会会長 野洲市 2月/第三者評価審議委員 京都府保育協会 2月

山本 剛史 ■日本学生バスケットボール連盟推薦理事、関西女子バスケットボール連盟 常任理事・総務部長・技術強化委員、近畿・大阪私立短期大学女子総合体育大会総務委員、滋賀県バスケットボール協会学連副部長 2012年度

北尾 岳夫 ■京都YMCAスキー実行委員会スキーリーダー講習会講師 11月・12月/第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会滋賀県選手団クロスカントリーチーム監督 2月/全日本スキー連盟公認大会 マックアース国境スラローム2013 競技役員 2月

手良村昭子 ■遊びの学校ワークショップ イオンモール草津 5月・8月・10月・12月・1月/第26回教養講座「レジャ・エミリア教育」講師 本学 10月/芸術週間ワークショップ 子民家エトコロ 2月

深尾 秀一 ■在住外国籍児童への教育支援活動団体「日和」事務局長 2012年度/こどもの講座「こどもの陶芸教室」講師 本学 8月

柚木たまみ ■幼稚園教育研究会グループ別研究会講師 守山市立立入が丘幼稚園 8月/小さな音楽会 石巻・女川市内施設 9月/第42回フランス音楽コンクール 音楽部門第3位、アンスティチュ・フランセ関西賞、フランス総領事賞受賞 11月/京都フランス歌曲協会企画委員、日本音楽療法学会近畿支部渉外委員 2012年度

松木 宏史 ■滋賀県家庭的保育者基礎研修講師 本学 8月・9月・11月/守山市家庭的保育者基礎研修講師 守山市役所 2月/吹田市第二次地域福祉計画推進委員会委員長職務代理、大津市平野学区社会福祉協議会地域福祉活動計画策定協力 2012年度

安井 恵子 ■滋賀県乳児保育研修会講師 滋賀県長寿社会福祉センター 6月/滋賀県家庭的保育事業研修会講師 本学 8月・12月/幼稚園職員リズム研修会 日野町立桜谷幼稚園 11月

小山内幸治 ■日本医師会認定医療秘書養成に関わる運営委員会委員 2012年度

柿木 重宜 ■全国大学国語国文学会委員、京都地名研究会常任理事 2012年度

江見 和明 ■日本消費経済学会全国大会コメンテータ 近畿大学 10月/私たちの暮らしを支える物流・ロジスティクス 田辺高校 1月/日本消費経済学会理事 2012年度

末澤亜矢子 ■こどもの講座「こども英語教室」講師 本学 8月

清水たま子 ■滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座講師 本学 8月/日本秘書協会 理事 2012年度

この紹介は、本人の報告書から作成いたしました。

## 全国保育士養成協議会より永年表彰をお受けして

幼児教育保育学科 教授 奥田 恵子



平成25年2月1日付で、社団法人全国保育士養成協議会より永年表彰を頂きました。本学には昭和48年12月からお世話になっており、40年近くになります。これだけ永く務めさせていただけましたのも皆様のご指導のおかげと深く感謝しております。

本学では音楽（ピアノ）を中心に音楽理論・伴奏法・保育内容表現などを担当してまい

りました。保育現場においても音楽事情は変化していきます。当然知っていると思った童謡を知らないという返事が返ってきたこともあります。一方で新しい子どもの歌が次々と発表されます。流行にも気を配りつつ歌い継いでほしいものも残していきたいと思います。また、2年間のピアノの修得は初心者にとって厳しいものがありますが、懸命に努力をする姿にはいつも感動させられます。これからも学生の成長を見守る喜びを感じつつ指導にあたりたいと考えております。ありがとうございました。

## 地域連携教育研究センターの設置

滋賀短期大学は地域連携教育研究センターを設置しました。図書館長をセンター長とし、本学の研究活動の向上に関わる支援、地域連携に関わる教育研究の推進等を目標とします。

## 人事の異動

### 退職

(平成25年3月31日付)

教授	古橋 紗人子
教授	越後 哲治
特任教授	佐伯 行一
特任教授	山本 正史
特任教授	阪本 清太郎
事務局長	後藤 俊男
総務課長	高田 繁蔵
嘱託職員	木村 美奈子
嘱託職員	藤井 玲子
非常勤職員	池田 寿子

### 採用

(平成25年4月1日付)

准教授	森 みどり
特任教授	古橋 紗人子
特任助教	高橋 圭
特任講師	金澤 雄介
総務課長	吉田 英史
学生支援課主事	中塚 豊
嘱託職員	伊東 美佳子
非常勤職員	道海 史佳
非常勤職員	能勢 知尋

### 昇任

(平成25年4月1日付)

准教授	末澤 亜矢子 (講師)
事務局長兼学生支援課長事務取扱	福地 茂 (事務局長兼学生支援課長)
入試広報課課長補佐	中村 治重 (入試広報課係長)

### 訃報

名誉教授 日比 恵子

平成25年1月17日ご逝去

## 滋賀短期大学教育研究充実基金の募集期間の延長について

基金の運用果実を主な財源として本学の教育研究費に充当することを目的として、5千万円を目標額に、平成5年4月から平成24年3月まで募集してきました。しかし近年の経済状況等を勘案し、さらに平成34年3月まで期間延長することになりました。目標額に達成させるべく、皆様のご協力をお願いいたします。詳しくは総務課までお問い合わせください。(参考)平成5年度から平成23年度までの受入額合計35,233千円

**寄付報告** 平成24年11月1日から平成25年4月30日までの間に滋賀短期大学教育研究充実基金に11件のご寄付を賜りました。ここに寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

(順不同)

坂本進 様・野口正和 様・後藤俊男 様・白子與志次 様・伊庭裕美 様・藏立長幸 様・前田明男 様・吉岡真人 様・野武真須美 様・前田光仁 様・岡田充弘 様